

# まちづくりのアイデア公募

提案の背景である篠栗町についてのひとことメモ (説明)

## I. 地勢

山林、町の三方、東北・南の豊かな緑の連峰が孤を描きながら丘陵となり、平地のまち部を包みこむ。森林面積は全町域の69%。林野庁の国有林自生「森の巨人たち百選の大杉」や「栗と和の大杉」町指定の天然記念物の巨木などが散在する。

水、2級河川の多々良川が町の東方の小川を水源として、溪流も集り中央部を東西に貫流、名島から博多湾へ注ぐ、全長17.8キロ米、水は豊か。支流の烏洲川に上水や農業用水、洪水調節管理のための県営多目的烏洲ダムがあり、福岡都市圏の市町にばかりをわけている。まち、自然を背に、町域は東西約8キロ米、南北約7キロ米、東部方面を要の頂点として平地が西の福岡市方面へ扇状形に広がっている。中世、<sup>せ</sup>迫内河内(現、篠栗町の大部分)には鎌倉幕府の地頭職がいた。

## II 利便性

帰

位置、福岡市の東方、福岡市と飯塚市の中間、福岡市から約12キロ米、観光、ハイキングなどの日帰り圏内。交通動脈、百万都市、福岡市、北九州市への利便性良好

道路、3つの貫線、県道201号線、607号線(金出街道とほぼ同じ)、篠栗-宗像線 92号線。

交通機関、JR 篠栗線・筑豊本線、西鉄バス、ともに回数多い。

暮らし、自然環境に恵まれ、人口3万1千余、住みやすい。

## III 癒・健・智の三位一体

場

癒、緑ゆたか、環境良。篠栗新四国88か所霊場は日本三大新四国霊の一つ、霊場は山間部などに散在、巡霊は遠方の九州一円、山口県などからあり、年間100万人を超え、その風景は地域の風俗となり、広く親しまれている。

健、山野は団体個人の心身鍛錬のフィールドとなっている。町やJRによるウォーキング、森林マラソン、オリエンテーリングなどが盛ん、グループ散策も多い、空にはハンググライダーも舞う。

智、初等から高度専門の目的を異にする教育・研究などの施設と建設技術関係支援センターの智の重要施設があり、いろいろ多くの人々が学んでいる。

施設は4、県立2、大学1、財団法人1。

## 公募、まちづくりアイデア

癒、健、智 三位一体、金出の地域づくり

金出地区にはコンパクトに癒、健、智の核となる資源が集積している。これら資源を多々良川から分水の農業用水路とそれに平行に沿う小道などを軸に、面的に相互に関連・総合化して地域力を高めていく。以下は核となる資源と提案。

### I. 水と道

#### 1. 農業用水路（愛称いこいの小川）と鯉

水路の一部（長さ約250米、幅、狭い60~90cm、深さ、浅い60~70cm程度）の区画内で色とりどりの多くの鯉（体長80cmほどかいる）が泳いでいる。

（提案）1. 遊泳水路の延長・整備、金出天神森から一井手まで。（暗渠などの一部は除外）

2. 鯉休養・産卵・育成池の新設

3. 幼鯉は本流の多々良川へ放流。源流の篠栗から河口の福岡市東区までを鯉の川に併せて、水辺の空石とかかわれる「カサセミ」が生息しやすい水辺にする。地域住民のつながり強化と山、川、海の一体化を図る。

（工事費の一部として、農業用水管理、景観、国土保全とも関連する中で農業整備モデル事業としての公的資金の利用できないか、要検討）

#### 2. 小道（金出道）と癒し

県立社会教育総合センター、金出宝満宮、珠林寺、篠栗新四国88ヶ所札所4番、35番、古址トラノモト、金出天神森、公衆便所に、接する前記農業用水路に沿う3cmほどの小道は、いそいそ多くの人が遊泳する鯉を足元に見ながら歩いて行く、癒しのスポットラインになっている。鯉撮影のカメラマンも見つけられる。

（提案）1. 金出天神森から一井手までの小道の整備。（拡張を望まざる困難なろう、静観）

2. ラオーキングコースの設定。

3. 小道に公募により愛称をつける。（例えば、天神鯉のこみち）

#### 3. 溪谷と虫

（提案）1. 県道92号篠栗-宗像線、どいの飯盛川の町立観音公園（隣接して、画廊お休み処、ギャラリー陶花、養護老人ホームあり）から下流のいかり橋あたりまでを、餌の川ニテを殖し、さらなる虫舞う溪谷の名所にする。

2. 溪谷と虫の名所に沿う県道の一部に、公募により愛称をつける。

### II 町指定の天然記念物の巨木

#### 1. 金出宝満宮の社叢林

境内8.720平方メートル、ツブラジイ樹齢350年、ヤブバキ200年、スダジイ、アラカシが群落状に茂る鎮守の杜。

次記の金出天神森から祭神菅原道真を移し合祀している。

(提案) 1. 日本の潜在自然植生でもある照葉樹林の杜としての整備。

2. 学問の神と孔子に因む「とねりはせりの木=楷の木、学問の木」を植える。場所、鳥居附近と県立社会教育総合センター周辺の小道の脇。

## 2. 金出天神森と町指定天然物の天婦大樟

消

広さ1.025平方メートル、筆之又男樟樹齢約500年、女樟約300年は地区のランドマーク、地区公民館、消防車庫あり、地区のコミュニティ広場となっている。

(提案) 1. やみ狭い、バッチを設置、<sup>かた</sup>語り、憩、学習の広場にやす。

2. 天然記念物大樟のライトアップ、文化財愛護啓発、観光のため、期日、文化財指定日2月1日、他。

## III 古址トウノモト

筑前国鏡凡土記附録に「トウノモトといふ所に七石立り。猿田彦命、大田伽藍、其余ハシテ。」と記す。今古址は少し盛り上った狭い区画に、数個の大石あり。畦道を探り向側に石が立っている。古い遺物が眠る文化財の包蔵地か、不明、興味をそそる。

(提案) 1. 古址解説板設置

他、私的の思い、栄枯盛衰を秘めている古址、今至近の天上から古址を見おろす天然記念物大樟の葉のさへせに、行乞放浪の山頭火の句「大楠の枝から枝へ青あらし」を連想する。できれば、この付近に大楠の白碑を建てたい。(山頭火は行乞放浪中、篠栗町に一泊している)

## IV 教育・研修などの智の施設

智の施設として次の四つのものがある。

1. 県立福社会教育総合センター

2. 県立教育センター

3. 九大大学農学部附属演習林本部

総面積482ヘクタール、<sup>おきな</sup>町中<sup>なか</sup>にあって広大、樹木多い。森林生物、環境、生物利用にかかわる教育研究施設。一般人の来場も多い。

最新情報、演習林の一部17ヘクタールを九大と篠栗町とで「篠栗九大の森」として整備、共同管理し、心癒す空間として2010年から一般に解放する。と発表された。

町は九大と連携、さうなる智と癒しの町づくりに取り組む。

4. 財) 福岡県建設技術情報センター <sup>上記</sup>

(提案) わが国最初の庶民の学校、総芸種智学院を創設(京都)した、学問の仏様と叫ぶ空海(弘法大師)を祀る地、篠栗町に、四つ異なる特色ある智の施設がある。これは篠栗町の宝といってもよいもの。これらと情報交換、連携を密にして「智的の町」づくりに励む。

上記3.4の施設は金出地区より少し離れた所にある

## V 幼児施設

### 1. 町立篠栗幼稚園

県立社会教育総合センターへの道筋の途中にある。広い敷地に大きな園舎、屋根は南むき片流れで大きい(桁22.5米、流れ約15米の長方形)。築後7年弱。

(提案) 1. 環境にやさしい園を目指す。園舎屋根上に、太陽光発電設備を附加する。

設備システムや発電状況(只今の日射強度、発電電力、これまでの発電量、太陽エネルギーなどの数値表示)の見学開放

2. できれば、太陽光発電の電気を利用しての、小中学生程度の科学実験設備の付加。

県立センター研修<sup>生</sup>にも解放する。(太陽光発電の教育啓発)

(新エネルギー産業技術総合開発機構の太陽光発電設備事業対象とならないか、と町の決断の有無、要検討)

### 2. 社会福祉法人やまびこ保育園

規模大、通園者多い。県立教育センターは近い、園とセンターへの通路(町道、金出高田線)の一部が同じ。道路は広幅、新装(道幅6米ほど、歩道4米、木柵の並木)感じ良い。

(提案) 通路に、保育園と教育センターなどに相応しい愛称を公募でつける。

## VI 篠栗新田国88が所礼所ほか

### 1. 礼所3

4番礼所金出大日堂、35番礼所珠林寺薬師堂、86番礼所金出観音堂、309礼所は近接、巡拝多い。

### 2. 公衆便所

巡聖、観光、研修、散策など通行人多い道筋にある。設置場所良。

## VII 観光あぐり(農)園づくり

前記の全てのものは既存のもの。本園は新しく作るもの。前記Iの通り、小道附近の休耕田を活用、地域に調をとり、癒しと実利(状況により加工販売もする)をも兼ねた観光農園を作る。

作物は下記のものとする。追加も可能。

1. 古代米

食用にも利用

2. グットンソバ(苦ソバ)

量のルチンを含み、毛細血管の弾力増強に有効らしい、心臓疾患にも有効らしい。

3. 甘茶の木

花祭の日や、適路接待地に活用

4. その他

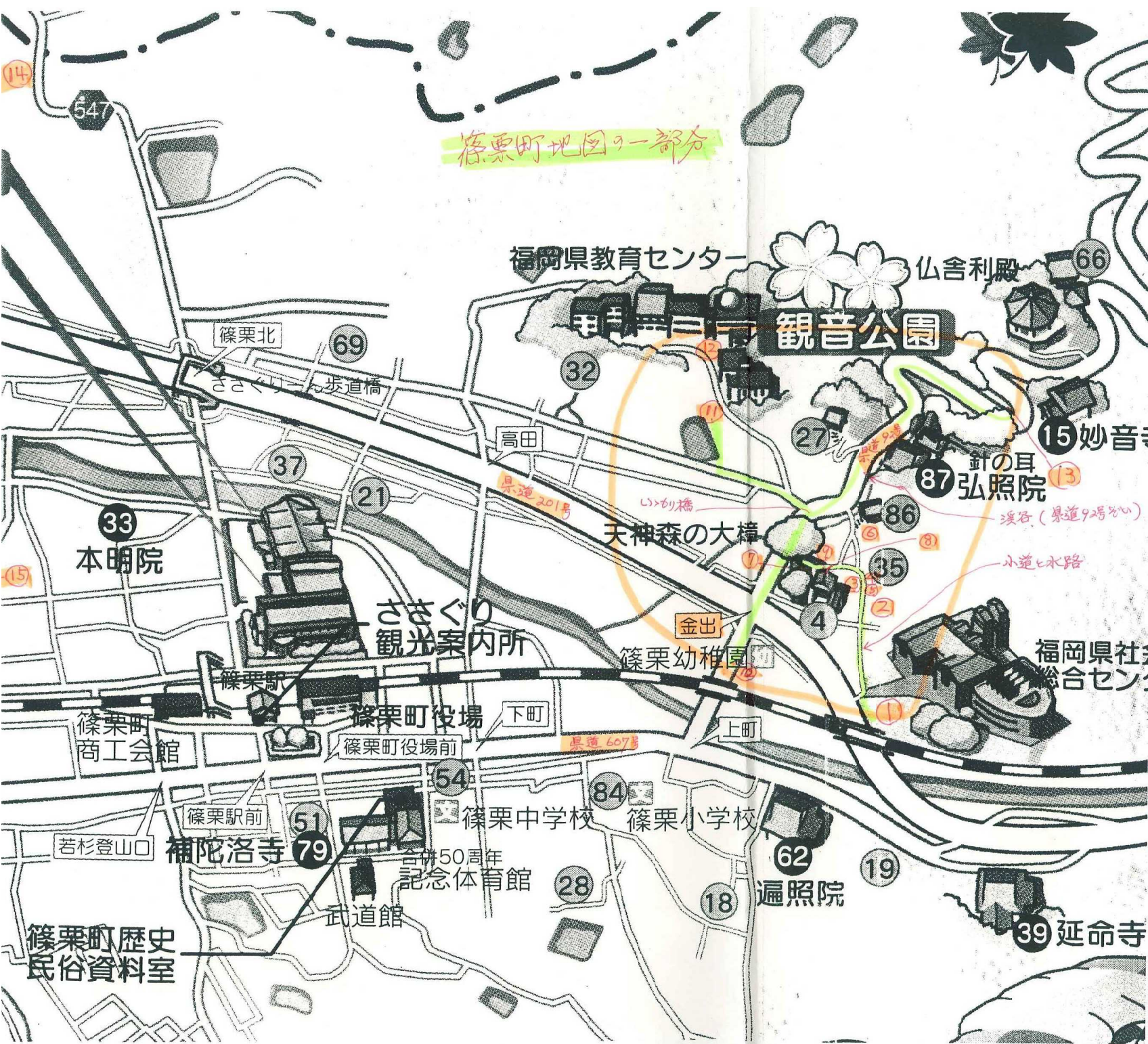
別紙、施設の所在図、添付

以上。

おこわり、提案については、関係者などに相談は全くおこなっていません。私の一方的考です。

また、実行不可能なものもあるか、とも思われます、よろしくおねがいします。

施設の所在図



篠栗町地図の一部

- ① 県立社会教育総合センター
- ② 金出宝満宮
- ③ 公衆便所
- ④ 篠栗新四国880所札所 35番
- ⑤ 珠林寺  
同所
- ⑥ 札所 86番
- ⑦ 古址トウノモト
- ⑧ 札所 4番
- ⑨ 金出天神森
- ⑩ 町立篠栗幼稚園
- ⑪ やまびこ保育園
- ⑫ 県立教育センター
- ⑬ 画廊お休み処  
キヤラリー陶苑  
養護老人ホーム
- ⑭ 九州大学演習林本部
- ⑮ 建設技術情報センター

施設間の距離

- ①-⑪ およそ 800米 } およそ1キロ以内
- ②-⑩ " 200米 } に散在
- ⑨-⑬ " 800米
- ①-⑦ 小道、水路